

発行日 平成27年 2月 25日

第

11

号

ゆとりあん

社会福祉法人新潟しなの福祉会

地域生活支援センター「ゆとりあ」

〒950-0083

新潟市中央区蒲原町7-1 東地区総合庁舎2F

TEL 025(240)8000 FAX 025(240)8111

相談専用 TEL 025(248)7170

E-Mail : yutoria@sweet.ocn.ne.jp

★★★ ゆとりあ からの お知らせ ★★★

9日 … 法人会議のため17:30閉館となります。
お間違いのないようお願い致します。

★★★ ゆとりあ の 3月の予定 ★★★

座 談 会 … 3月3日(木) 13:00~14:00 ゆとりあのお花見について

座談会には予定があつて参加できないけれど、提案したいことがある方は事前にスタッフに教えてください。

鬼は外！福は内！

2月といえば節分！ということで、ゆとりあにも鬼がやってきたので豆まきを行いました！

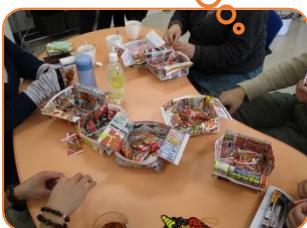
鬼の面がたりず、「鬼」の腕章をつけていただけの鬼もいたり…(笑)

豆の猛攻に合う鬼達



「鬼は一外一！福は一内一！」の掛け声とともに鬼に豆をぶつけました。思ったよりも豆の威力が強かったようで鬼も防戦一方でした(笑)

無病息災を願って！



最後は鬼と記念撮影をし、まいた豆をおいしくいただきました！

今年も元気で楽しく過ごせますように！

ご意見箱 設置しました



入口横のロッカーの上にあります。

『ご意見箱』をようやく設置致しました！

ゆとりあに対するご意見、ご要望や直接スタッフに伝えにくい内容などがありましたら記入してください。

皆様からのご活用お待ちしております！

利用登録・更新について

3月3日の座談会にて詳細の説明をさせていただきます。

裏面にも記載がありますが、ゆとりあでも登録・更新手続きが始まります。

ゆとりあでは、3月3日の座談会で詳細を説明後、利用登録・更新についての説明を掲示します。

不明な点がある方は、スタッフにお問い合わせ下さい。

☆法人展開催中☆

前回の機関誌でも紹介をさせていただきましたが、もう見に行った方もいるでしょうか？
その様子を少し紹介したいと思います♪



ふらっと出展
Nさまの作品の一部



パッチワークもあります！
新商品☆
ティッシュBOX ケース⇒



手工芸から写真まで。
小さいものから大きなものまで。
本当にたくさんの素敵な作品が展示されています。
法人展は2月29日(月)まで開催しています！！

最近、朝晩空を行く白鳥は、事さら大きな声を上げて飛んでいるように思える。
いよいよ繁殖の為、シベリアへ、北帰行が始まったようだ。さあ春がやってくる。
今年は暖冬もあって白鳥の餌も豊富で、我が地元瓢湖に飛来した白鳥の数は、過去最高の 10159 羽を数えたそうだ。通勤途中、車窓からは、田圃で餌をついばむ白鳥の姿を連日見ることが出来た。
読者の皆さんは、ご存じだろうか、昨春、ふらっとのスタッフが増え、事務所には机も増えた。存在感のない店主は必然的に事務所の奥に追いやられてしまった。
出べそな店主ということもあって、隣りにはお目付け役まで貼り付けられる始末…。しばらくは、大人しくしているのかと思いきや、目を離すとすぐにそばついでスは温まる暇もない。本当一虎が軽い」と振れば。酒のアテには肉が良いというので、体重は重いつつお目付け役を患者にするのか！

☆主の「ラム」北帰行☆



平成28年度 ふらっと・ゆとりあ利用手続き(更新手続き)について

ふらっと・ゆとりあをご利用いただくに当たり、利用者の皆さまには利用登録をお願いしています。利用登録は年度ごとの更新となりますので、現在登録されている皆さまにも更新の手続きが必要となります。
更新についての詳しい内容は改めてふらっと・ゆとりあ内等にてお知らせ、またはスタッフよりお声かけをさせていただきます。

また、新規登録、見学希望につきましては随時受け付けておりますので、お気軽にふらっとまでお問い合わせ下さい。

ホームヘルパー講習会を終えて

前回の機関誌にもありましたが、去る1月31日(日)にふらっと・ゆとりあ主催で、精神障がいを持つ方に訪問をするホームヘルパーのための講習会を行いました。その中で、実際にヘルパーのサービスを利用している当事者である、佐々木福子さんのお話を聞くというコマを担当させていただきました。

利用する方がヘルパーに求めるものというのは人それぞれだと思います。「とにかく黙々と、てきぱき仕事をしてほしい」と言う人も居れば「多少仕事は遅くても、話の合う人が良い」と言う人も居ます。佐々木さんはどちらかというところ後者の方ではなかったかと思います。もともとお喋りは好きということですが、事前の打合せでのお話からも、障がいを持ちながらのアパートでの一人暮らしという不安、寂しさがとても伝わってきました。定期的に訪問してくれるヘルパーは、気持ちの面でも大きな支えとなっている存在でした。

「ヘルパーさんたちがいなかったら 今のわたしはないでしょう これからもこんな私を よろしくです」
佐々木さんの部屋の壁に貼ってある、歴代のヘルパーさん達の顔写真の横に書いてある一言でした。

にのみや